

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北海道)	◎	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・2月は各地で冬の大型イベントが行われることもあり、冬季観光のピークとなる。国内客の観光需要が堅調に推移するなか、国際便の就航路線が1月から増加していることで、観光客の増加につながっている。韓国路線は好調が続いており、中国路線も、観光ビザの発給要件緩和により、上海や北京などの大都市からの便が増えている。関東圏や関西圏からの乗り継ぎも増えている。インバウンド需要が観光消費を底上げしている状況にある。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・売上は24年度比で156.3%、23年度比で198.8%、22年度比で931.3%、21年度比で1811.4%、20年度比で299.3%、コロナ禍前の19年度比で190.5%となっている。
	○	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・来客数が伸びており、それに伴って新規客も増えていることから、景気は上向いている。ローンの金利を低めに設定している施策面での効果が出ていること、今年は雪解けが早く、春先需要が例年よりも早く始まっていることが要因となっている。
	○	高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・売上は前年を僅かに超える程度であり、景気はほとんど変わらない。ランチは観光客とみられるおしゃれした客の来店が多く、混雑している。夜は余り混雑していないが、予約客で客席が1回転する。ただし、食材の値上げの影響が大きく、利益はそれほど出ていない。先日、知り合いの店を訪問したところ、作り慣れていないような料理が何品も出てきて驚いた。コロナ禍の後も営業を続けているだけでも大変なことではあるが、経営面での厳しさがうかがえた。
	○	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・1室当たりの宿泊人数が増えていることで、景気はやや良くなっている。
	○	タクシー運転手	来客数の動き	・前々年より乗務員の採用に注力していることで、乗務員が前々年比で50%、前年比で30%増えている。その結果、タクシーの稼働台数が増えており、売上は前年比プラス60%と大幅な増収となった。タクシー1台当たりの売上も前年比プラス13%と好調であった。
	○	観光名所（従業員）	来客数の動き	・外国人観光客について、個人客が引き続き伸びており、コロナ禍前に記録した月間最高利用人数に迫る勢いで推移している。その効果で施設内にあるレストランや売店も過去最高の来客数と売上を更新している。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・燃料価格の高騰が止まらないことから、ガソリンや灯油の節約、日配品の買い控えが顕著となっている。昼夜を問わず外出する人が減少している。
	□	商店街（代表者）	販売量の動き	・今冬のイベント期間中は外国人客の入込が多く、非常に好調であった。また、例年であれば、イベント後は外国人客が減少する傾向にあるが、今年はそのようなこともなく、好調を維持している。
	□	一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・月全体の売上はまずまずの金額となっているものの、日ごとの売上はかなりのばらつきがあり、安定していない状況にある。
	□	一般小売店（経営者）	販売量の動き	・決算セールを開催したこともあって、来客数及び売上が回復した。
	□	百貨店（売場主任）	単価の動き	・全体売上に占めるインバウンドのシェアが一定のところで安定し始めている。
	□	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・相変わらずインバウンドによる買物が多く、消費がインバウンドに支えられている。一方、道内生活者の購買動向は、物価上昇に賃金が追いついていない状況が続いていることもあって芳しくない。
	□	スーパー（店長）	販売量の動き	・売上は前年以上に伸びているが、商品単価の上昇による影響が大きく、来客数や1人当たりの買上点数が前年を下回る日もみられる。好景気で売上が伸びているのではなく、物価高の影響で売上が増えている状況のため、景気は変わらない。

<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前月に続き、来客数、買上点数が前年並みを維持している。対応に難しい面はあるが、客が離れないような価格設定、サービス維持が必要になってきている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・今年は人事異動を理由としたスーツの買換え需要が増えている。買換えの時期も前倒しとなっており、売上が底上げされている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（エリア担当）	来客数の動き	・ここ数か月、気温が急に上昇したり、大雪が降ったりと天候が安定していなかったことから、天候に左右される日が多かった。ただし、来客数がほぼ前年並みで、客単価が前年をやや下回る状況はこれまでとさほど変わっていない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・有料のバイクイベントにブース出展したところ、イベント全体の来場者数が前年の83%と減少したことから、趣味に使う金が減っていることがうかがえる。気軽な気持ちで会場をのぞいてみようという客も減っている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車も中古車も販売量が前年を30%ほど下回っている。一方、サービス部門は前年から40%ほど収益が増加しており、全体としては景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	自動車備品販売店（店長）	来客数の動き	・カー用品店にとって2月は閑散期であるが、今年は来客数が前年比89%と落ち込んでいる。必要な物がないと購入しないという流れが、これまで以上に強く表れていることがうかがえる。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（役員）	販売量の動き	・3か月前と比べて、売上の前年比に変化がなく、販売動向にも変化がみられないことから、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 〔医薬品〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの流行が収まってきたことから、顧客がようやく動き始めた。ただし、天候の変化が極端なため、今後の動向が心配である。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（経営者）	単価の動き	・石油製品価格が高止まりしていることで客の節約志向が強まっている。販売量が前年より落ち込んでおり、厳しい状況が続いている。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 〔造花〕（店長）	来客数の動き	・自社イベントを開催したところ、期間中の来場者がこれまでよりも1割強減少するなど、落ち込みが目立っていた。業界として景気の悪い状態が続いていることで、購買意欲の低下に加えて、新しいことに挑戦する意欲の落ち込みがみられ、そのことが来場者の減少につながったとみられる。
<input type="checkbox"/>	スナック（経営者）	来客数の動き	・観光客が増えていることで、飲食店街でも観光客を見掛ける機会が増えているものの、スナックのような夜型飲食店では観光客の姿は余り見掛けない。地元客の客足も遠のいたままであり、景気は変わっていない。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・台湾、韓国を中心にインバウンドの集客が堅調であった。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	来客数の動き	・日中の利用状況については、天候の急な変化や公共交通機関のトラブルの影響による増減はあるものの、大きな変化はみられなかった。夜間については、週末の利用が多少伸びるものの、月曜から木曜は余り変化がみられなかった。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	販売量の動き	・乗務員不足が顕著なため、思うような稼働台数を維持できない状況にある。乗務員の育成にも取り組んでいるが、自動車教習所の人手不足もあって、免許取得まで相当な時間を要している。
<input type="checkbox"/>	通信会社（企画担当）	競争相手の様子	・大型商業施設での出張販売を行う際に、条件の良い場所や出店場所そのものを競合他社に取られてしまうことが増えている。予算にも限界があるため、対応に苦慮している。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	来客数の動き	・大雪と灯油価格高騰の影響で来客数がかなり減少すると見込んでいたが、余り落ち込みがみられず、例年並みの来客数であった。

□	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・資材価格が上昇したままであり、金利も上昇局面にあることから、住宅の着工意欲が盛り上がっていない状況にある。
□	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・分譲マンションのモデルルームを来訪する客について、購入判断に要する時間が数か月前と比べて短くなっている。
□	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・住宅ローン金利が上昇していること、建築コストが高止まりしていることから、消費者マインドは回復していない状況にある。
▲	商店街 (代表者)	単価の動き	・販売動向をみると、低価格品と高額品の2極化が大きくなっており、中間価格帯の商材の動きが鈍くなっている。売上も全体的に減っている。
▲	スーパー (店長)	お客様の様子	・物価が高くて困るという話を客からよく聞く。
▲	スーパー (店長)	販売量の動き	・物価の上昇に賃金が追い付いていないため、景気はやや悪くなっている。金利が上昇傾向にあることもマイナスである。
▲	スーパー (企画担当)	販売量の動き	・米や野菜に加えて、加工食品も価格が高騰している。来客数は前年並みを維持しているが、販売量が減少傾向にある。
▲	コンビニ (エリア担当)	販売量の動き	・売上は前年並みを維持しているが、インバウンド効果による面が大きく、国内客による売上は減っている。買上点数は22か月連続で前年を下回っており、国内客が必要な物しか購入していないことがうかがえる。
▲	コンビニ (エリア担当)	来客数の動き	・地方の観光地の店舗では、インバウンドの利用が少しずつ増加している。一方、周辺住民の利用は減少している。商品の値上げが影響しているためとみられる。
▲	衣料品専門店 (経営者)	販売量の動き	・セール時期を迎えているが、必要な物がある客はセール前に購入している。セールで安いからといって、特に必要ではない物を客が買うことは少なくなっている。
▲	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・販売量が前年よりも減っている。理由として、新型車効果が薄れていること、物価高の影響で客の消費マインドが低下していること、当社を巡る報道がマイナス要因となっていることが挙げられる。
▲	高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・春節の影響で客が増えると思っていたが、見込みほどの伸びがみられなかった。
▲	旅行代理店 (従業員)	販売量の動き	・一部の大型レジャー施設などへの旅行は例年並みで推移しているものの、近場の温泉への宿泊旅行や出張での利用が大幅に減少している。宿泊施設や交通機関の利用料金が値上がりしている影響で売上は増えているが、販売量は前年をやや下回る状況が続いている。
▲	旅行代理店 (従業員)	お客様の様子	・旅行の新規問合せ件数について、かなり少ない状況が継続している。また、例年は社員旅行を実施していた企業が、今年は実施しないと判断するケースも増えている。
▲	美容室 (経営者)	お客様の様子	・物価高の影響で、客単価の低下や来店サイクルの長期化などがみられている。
▲	その他サービスの動向を把握できる者 [フェリー] (従業員)	来客数の動き	・今年は天候不順の影響で海が荒れている日が多かったことから、欠航便数が大幅に増え、月全体の輸送量が減少した。
×	スーパー (店長)	販売量の動き	・冬はどうしても支出に占める灯油やガソリンのウエイトが高くなるため、それらの価格が上昇していることで景気は厳しくなっている。店内では、必要な物をメモに書いて買物している人が多くみられる。
×	高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・閑散期に入ったことから、観光客の利用が減少している。

	×	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・2月及び3月の売上見込みが前年の半分ほどになっている。インバウンドが過去最高の入込数となっていることで、飲食店や宿泊施設は好調のようだが、当社のような旅行代理店が恩恵を受けることはほとんどないのが現状である。
	×	タクシー運転手	販売量の動き	・物価高騰の影響で消費者の節約意識が過去にないほど高まっている。買回品はより安い物を買うようにしたり、交通費や交際費は儉約を徹底している。
企業 動向 関連 (北海道)	◎	—	—	—
	○	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・インバウンド需要の増加により、受注量や販売量はとても好調である。ただし、仕入れ面については、原材料価格の高騰や供給不安など、好ましくない状況が続いている。
	○	建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・年度末を控えて、受注工事の多くが完工を迎えている。今年度は悪天候の影響を受けることが少なく、工事の進捗が順調だったことに加えて、追加工事分の上乗せもあって、計画を大きく上回る完工高と利益を確保できている。
	○	通信業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・仕入価格の上昇に伴い、販売価格の引上げ交渉を進めているなか、客先の理解を得られるケースが明らかに増えていることから、景況感はやや良くなっている。
	○	司法書士	受注量や販売量の動き	・不動産売買や住宅リフォーム関連など、不動産登記に関する受注量が増加している。
	○	その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	取引先の様子	・労働者不足、建設資材価格の高止まりなどのマイナス要因はあるものの、国内の建設投資は堅調に推移している。大手建設会社の業況も改善傾向にある。
	□	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比較して受注量に変化がみられない。
	□	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・販売量は前年比プラス30%となっている。3か月前の販売量も前年比プラス30%と同水準であったため、景気は変わらない。
	□	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・設計業務はそれなりにあるものの、施工や工事監理まで進まない業務が多くみられる。工事費が高騰しているため、工事を断念したり、延期するケースが発生している。また、工事費の減額対応や限られた金額で対応できる施工者の模索など、今までにない業務を行う機会が増えている。
	□	輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・例年2月は荷動きが余り良くなく、今年も落ち着いている状況にある。本州向けの生乳は、取扱量が大きく減ることはないものの、低調に推移している。飲料関連も取扱量の少ない状況が続いている。紙パルプは堅調な荷動きとなっており、落ち込んだ分の貨物量の穴埋めに寄与している。こうした状況は春まで続くと思われる。
	□	金融業（従業員）	取引先の様子	・企業の声として、個人消費の弱さを意識しながらも、原価上昇の対策として、商品やサービスの値上げ、省エネ投資の実施などの話を聞くようになってきた。また、人手不足対策として、省人化投資による生産性の向上など、前向きな話も聞こえてくるようになってきた。
	▲	農林水産業（経営者）	取引先の様子	・収穫量が落ち込んでいるため、景気はやや悪くなっている。さらに、最近の物価高の影響で全体的に物が売れなくなっていることもマイナスである。
	▲	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・現場作業員の人手不足が続いていることから、依然として見込みどおりに仕事をこなせていない状況にある。冬場に物量が落ち込むことは想定していたが、国内貨物も国外貨物も想定を上回る落ち込みとなっている。
▲	広告代理店（従業員）	それ以外	・当社の業績が低迷している。	

	▲	その他非製造業 [鋼材卸売] (従業員)	受注量や販売量 の動き	・機器の入替えや新設など、小中規模の設備更新案件などがあつたことから、3か月前と比べると売上は順調であつたが、建築鉄骨業界では全体的に大型案件が減つており、今後回復が見込めないことから、厳しい状況にある。	
	×	司法書士	受注量や販売量 の動き	・例年並みの仕事量となっている企業が多いものの、ガソリンや灯油などの価格が高止まりしていること、食料品の値上げが続いていることから、景気は悪くなっている。さらに、インボイス制度の導入により、企業の負担が増えていることもマイナスである。	
雇用 関連 (北海道)	◎	—	—	—	
	○	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・求人数は引き続き増加傾向にある。特に営業系の求人数が増えていることから、企業の事業拡大意欲がうかがえる。また、当社の紹介人材について、一次面接の通過数が3か月前の約2倍に増えていることから、人材をできるだけ早く採用したいという企業の考えもうかがえる。ただし、人数さえ確保できれば良いということではなく、これまでと同様にあくまでもスキルを重視している。	
	□	求人情報誌製作 会社(編集者)	求職者数の動き	・全体的に応募者の減少が顕著である。さらに、求職者からの応募があつたとしても、ミスマッチにより採用に至らないケースが増えている。若年労働力の減少という構造的な問題に加えて、Webも含めた様々な求人媒体の普及により、求職者の動きが分散していることが理由として考えられる。	
	□	求人情報誌製作 会社(編集者)	求人数の動き	・企業の省人化施策の影響で全体的に求人意欲が低下しており、求人も減少傾向で推移している。ただし、宿泊業や飲食業は観光客が増加していることで求人がやや増加傾向にある。	
	□	求人情報誌製作 会社(編集者)	求人数の動き	・飲食業や運輸業など、求人数が多少増えている業種もあるが、季節要因を考慮すると、全体的な求人数は3か月前と大きく変わっていない。	
	□	求人情報誌製作 会社(編集者)	求人数の動き	・当地の主要産業である建設業、介護関連からの求人が回復している。ここ2年ほどは求人数が落ち込んで推移していたが、そろそろ採用活動を再開しなければ、将来の経営に危機を招くことになるため、社運を賭けて募集するケースもみられる。	
	□	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・1月の有効求人倍率は0.84倍であり、前年を0.04ポイント下回っている。	
	□	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・新規求人数は前年比で8.4%の減少、月間有効求人数は前年比で7.8%の減少となっているが、特殊要因による影響が大きく、落ち込みが大きいとまではいえない状況にある。	
		▲	学校[大学] (就職担当)	それ以外	・物価の上昇幅と比べて、賃金水準はそこまで大きく変わっていない状況にあり、求人と求職のミスマッチが続いている。人手不足は続いているものの、景気はやや悪くなっている。
		×	—	—	—